

霧島市

よんたもんせニュース

霧島市国際交流員（CIRA）及び
外国語指導助手（ALT）による情報誌

2025年3月号

国際交流員 張玉

皆さん、こんにちは。中国の湖南省こなんしょうからきました、
国際交流員の張玉ちやうぎよくです！中国の歴史や文化、グルメ、
最新トレンドなどを中心に講座を開催しています！

2025年に公開された中国の3DCGアニメーション映画
『**ナタ：魔童鬧海**』は3月2日までに約145億元（約
3,000億円）の興行収入を記録し、全世界のアニメー
ション映画の歴代興行収入で1位となるなど、世界的に大
きな話題を呼んでいます。日本でも2025年4月4日より
日本語字幕版が全国公開されることけつぎが決定しています。
今回はこの映画について紹介したいと思います！



『**ナタ：魔童鬧海**』

最近話題になっている中国映画『**ナタ2**』は、中国の古典小説『**封神演義**』に登場する伝説の少年英雄「**哪吒（ナタ）**」を題材にした作品です。2019年に大ヒットした『**哪吒・魔童降世**』（**ナタ1**）の続編で、アクション、ファンタジー、神話要素を融合させたアニメ映画です。前作では、ナタが「**魔丸**」として生まれながらも運命に抗い、正義の道を選ぶ姿が描かれました。『**ナタ2**』では、さらにスケールアップし、新たな敵と戦いながら成長する物語が展開されます。

どんなストーリー？

『**封神演義（ほうしんえんぎ）**』は、中国明代の伝奇小説で、中国四大奇書の『**三国演義**』『**水滸伝**』『**西遊記**』とほぼ同時代で、中国の歴史・神話・民間伝承を融合した壮大なファンタジー作品です。舞台は約3000年前、中国の殷（商）王朝末期で、暴君・紂王（ちゆうおう）が悪政を敷き、国が混乱している時代です。仙人や神々が介入し、周の武王を助けて殷を倒し、新たな王朝一周を築くまでの戦いが描かれます。

『**封神演義**』は、アニメや映画、ゲームにも多く取り入れられ、日本の『**封神演義**』（藤崎竜の漫画）や『**Fate**』シリーズのキャラクター設定にも影響を与えているそうです。

原作『**封神演義**』



『**封神演義**』



道教の神々

『封神演義』は、歴史的な出来事をもとにしたながらも、多くの道教の神々や仙人が登場する物語です。特に、物語の根幹には道教の「封神思想」が関わっており、殷周の戦いを通じて仙人や妖怪が「神」として封じられるプロセスが描かれています。

道教には「封神」という概念があり、特定の人物や霊的存在が神として認定され、神格を得るという信仰があります。哪吒や姜子牙、元始天尊など、現在も道教の神として信仰されるキャラクターが多数登場しています。こうした道教の背景を知っていると、さらに深く楽しめると思います！



映画『ナタ』は、『封神演義』をベースにしていますが、原作と大きく異なる点もあります。『封神演義』は壮大な歴史×神話の物語で、神々の誕生や大戦争が描かれるに対し、『ナタ』映画は「悪の運命を変えられるか？」というどこか人間味あふれるストーリーにフォーカスしています。

格好いい伝説の武器（乾坤圈、風火輪）で迫力満点の戦闘シーン、水墨画風のエフェクトや中国らしい美しいアートスタイルが非常に魅力的です。

もし機会があったら、ぜひ映画館で見てください！




『ナタ：魔童鬧海』



他の作品での「ナタ」

発行：霧島市役所 市民活動推進課
市民環境政策・国際交流グループ
連絡先：64-0924

 [explore_kirishima](#)

国際交流員のInstagramをフォローし、最新情報をチェックしましょう！